

多品目化と人材育成で農村のニーズに対応

かまくらやや農地活用を通して、農村の困りごとの解決を目指しています。そのために昨年は、農産物の多品目化への転換を図り、社員の自立を促す取り組みに力をいれてきました。

農産物の多品目化へ転換

松本と安曇野の耕作放棄地を借り上げ再生して畑に転換し、ソバや大豆などを栽培する取り組みは13年目を迎えました。2021年に立ち上げた子会社の安曇野みらい農園と共に多品目化に取り組み、新しい作物にもチャレンジしています。

農業を継続する人を育てる

「農作物・農地・人」すべてがそろってこそ農業の継続が実現します。産業としての農業は高齢化が進み農業で働く人が減る状況の中、当社は10年先、20年先の農村で働く「人を育てる」ことを目指し、8年連続で新卒社員を採用しています。今年も5人の新たな戦力が仲間に加わります。

品目化への転換を試みただけです。ソバ、大豆、リンゴ、米の4品目に、新たに▽ジュース用トマト▽陸(おか)ワサビ▽ニン

新入社員は3年ほどで、各品目の責任者として「自立」できるように育てています。責任者は自発性を高め、トライ&エラーをすることでさらに成長していくでしょう。



県内でも数少ない大型機械でのジュース用トマトの収穫

加えて責任者には原価意識を持つためのコスト管理までを託しています。社員それぞれがさらに成長し続けるための仕組み整備を急ぎ、経営について教える「社長塾」の実施に加え、今年も外部講師を迎え、人のまとも方やコスト意識を育てていく予定です。社員を育てることで経営者らも共に育っていく、まさに「共育(きょういく)」の真つただ中なのです。

いづれも地域のニーズに応える取り組みです。機械収穫が功をなしたジュース用トマトは、栽培初年度にして多出荷が評価されて長野県知事賞を受賞しました。

ジン▽タマネギ▽野沢菜▽みどり大根▽インゲン▽ニラ▽薬草の9品目の栽培を加えました。



人を生かして多品目化することで、大変な状況下でも光が見えてきました。コロナ禍の逆境が図らずも、農産物、農地、人それぞれの歯車がかみ合う契機となったのです。人の成長こそが、コロナ禍で得た大きな「財産」で「宝」なのです。



かまくらや

株式会社 かまくらや

TEL.0263-87-7101 松本市島立 454-1



安曇野
みらい農園

株式会社 安曇野みらい農園 (農場)

TEL.0263-31-5940 安曇野市三郷温 6725

地域と共に歩み 50周年を迎える

塩嶺CCは、地域の要望に添えるような形で開場し、地域と共に歩んで今年50周年を迎えます。散歩や食事だけでも気軽に来場していただき、塩嶺CCを身近に感じ、楽しみ、喜んで帰っていただけるよう、さまざまな取り組みを続けています。

さまざまな世代の ゴルファーを応援

さまざまな世代の「ゴルフをしてみたい」という気持ちを応援しています。特にここ数年若い世代の友だち同士などでの来場が増え、気軽に楽しめるレジャーとして浸透してきている手ごたえを感じています。

「40歳以下の方限定割引」や「若者ゴルフ体験9ホールプラン」も好評です。これらのプランではクラブやシューズのレンタルが無料で、手ぶらでご来場いただけるのも魅力の一つでしょう。高校生世代へも、学校へプロを派遣して教育の現場にゴルフが根付くよう取り組んでいます。

レストランのメニューや施設の充実もきっかけとなったのか、女性のご来場も増えていきます。女性ゴルファーの皆さまに



もより快適にゴルフ場で過ごしていただきたいと、50周年を機に女性用ロッカールームと脱衣場、浴室を改修しております。

練習はゲーム感覚で

2021年4月から、松本市にあるゴルフ練習場「並柳ゴルフガーデン」がグループ企業となり、松本ポイントの共通化などで連動し、ゴルフ場をより近い存在に感じていただけるよう取り組んでいます。

このほど、ゴルフの練習をゲーム感覚で楽しめる計測器「トップトレーサー・レンジ」を全打席に導入しました。打ったボールの軌道や飛距離の計測、ゲーム機能、専用アプリ上でのイベントに参加などが無料で楽しめます。ゴルフの練習の幅がますます広がりました。より多くの皆さまにゴルフを楽しんでいただければと願っています。



バーチャルゴルフ (実在する世界中のコースをラウンド)



クラブ別計測 (平均飛距離などクラブ毎のデータ履歴を表示)

塩嶺カントリークラブ

2022年3月5日(土)オープン予定

名義書替料金減額キャンペーン
2022年11月末まで実施中

塩嶺市北小野4956
TEL.0263-56-2211

